

自主・創造・根気

第15号

2018.10.10
三田市立狭間中学校

三田市中学校新人大会(9/29・10/1・6・7)の結果

○ 市内大会の結果(総合・団体の成績のみ) *詳細は、ホームページに掲載

種目名	試合結果	種目名	試合結果
陸上競技	男子5位:女子5位	ソフトテニス	男子2位:女子敗退
<駅伝>	男子2位:女子6位	バスケットボール	男子敗退:女子3位
軟式野球	6位	女子バレーボール	3位
サッカー	4位	剣道	男子3位:女子3位

○ 丹有大会(10/13・14)に出場する種目 *女子バレーと剣道は、13日のみ

サッカー<駒ヶ谷> 男子テニス<青垣総合> 女子バスケット<駒ヶ谷>

女子バレー<篠山中> 剣道<ゆりのき台中>

* 陸上競技は、駅伝(10/24)に出場<巖手並木道公園> (丹有大会は8/26・27に終了)

「あいさつで みんなのえがお ひろげよう」

—狭間中学校区 あいさつ運動共通スローガン—

10月1日・2日、5回目の「生活アンケート」を実施しましたので報告いたします。

【狭間中の良いところ】の質問で一番多かった回答は、「あいさつができる 68.1% (1年:68.3% 2年:73.2% 3年:63.1%)」で、前回までの数値を上回っていました。

学年別に見てみると、1年生は「先輩が優しい 7.7%」「困っている人を助ける 6.7%」、2年生は「トイレのサンダルを揃える 13.1%」「明るい、元気 4.9%」、3年生も「トイレのサンダルを揃える 21.5%」「明るい、元気 4.6%」等の回答がありました。

【学校生活で気になるところ】の質問では、全学年で「教室や廊下で走ったり暴れたりしている 15.1% (1年:16.3% 2年:13.0% 3年:16.2%)」の回答が多くありました。前回までの数値を大きく下回りましたが、ちょっとした「悪ふざけ」が怪我につながったことでもありましたので、今後も引き続き指導していきます。

1年生では給食準備の時間に「廊下が通りにくい 9.6%」「廊下で暴れている 9.6%」等の回答がありました。また「授業態度が悪い 9.6%」「悪口や暴言を言われる 5.8%」

等、気になる回答もありました。2年では「トイレのサンダルが揃っていない 8.9%」「うるさい 8.9%」「掃除をサボる 4.9%」等、3年生では「トイレのサンダルが揃っていない 6.9%」「時間が守れない 2.3%」等の回答がありました。

【自分自身のことで、いじめや悩み、心配ごとはありませんか】の質問を関係毎にみると、1年生は「勉強・テスト 5人」「部活動 1人」「人間関係 1人」「自分自身に関する 1人」、2年生は「勉強・テスト 7人」「部活動 3人」「人間関係 2人」「進路 1人」「勉強と部活の両立 1人」、3年生は「進路・受験・高校 14人」「勉強・テスト・成績 11人」「生徒会 1人」でした。

「塞翁が馬」「おかげさま」 *山中伸弥(京都大学iPS細胞研究所所長)

「人間万事塞翁が馬」という言葉があります。

私が医師として最初に勤務したのは最先端の病院で「こんなところで働けるとは、なんて幸運なんだろう」と喜びました。ところが、働き出すと、厳格な指導医に連日のように叱られ、すっかり自信を失ってしまいました。

しかし、その苦しい経験が「研究者を目指す」という新しい道に導いてくれました。

実験では、自分の予想通りの結果にならないことが多く、落ち込むこともあります。しかし、予想とは違う結果が大発見につながることもあります。

iPS細胞の開発の過程でも、失敗に思えた実験で生まれたマウスが、実はiPS細胞ができたかどうか確認するために役立つことが分かり、そのおかげで開発を成功させることができました。

このような経験から、私は物事が順調に進んでいるときは「悪いことの始まりではないか」と用心し、思うように進まないときや、好ましくない出来事が起きたときは「これがどんな良いことにつながるだろう」と考えるように心がけています。

もう一つ心がけていることは「良いことはおかげさま。悪いことは身から出たさび」です。良い結果は、多くの人の協力があって初めて出すことができます。「おかげさま」は私が大好きな日本語の一つです。片や、悪いことが起きると他の人のせいにしたくなってしまうますが、原因は必ず自分の中にあります。

iPS細胞の研究開発でもいろいろなことが起きます。「塞翁が馬」と「おかげさま」の気持ちを忘れずに一步一步前進していきたいと思います。

* 毎日新聞(H29.7.16)から一部抜粋